

＼ご協力ありがとうございました！／ プラスチック部会アンケートについて 回答を打ち込みながら考えたこと、気が付いたこと

常総生協プラスチック部会より

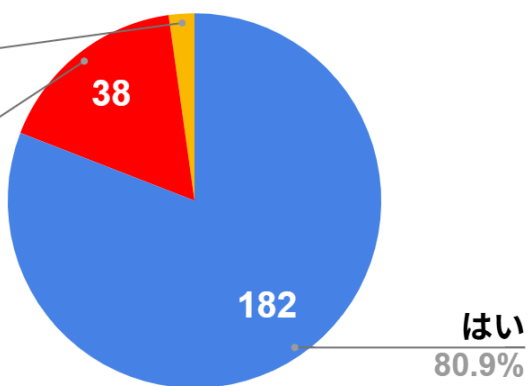
1) 暮らしの中でプラスチック削減の必要性を感じている

いいえ

2.2%

時々

16.9%



プラスチック削減のためのアンケートにご協力頂き本当にありがとうございました。325枚の回答が集まりました。私は組合員全員のお答えが欲しかったので、少ないと思ったのですが、職員さんにお聞きすると、これはアンケートの回収率としては多いのだそうです。無記名だからかな、と言われましたが、寄せられた回答を読んでいると、プラスチック削減への関心がとても高いからに違いないと思いました。

集計結果、詳しい分析やその結果をどのように活かすことができるか、などは次回以降に譲りますが、まずは生協のポリ袋のリサイクルについて。

★現在、商品が入っているポリ袋を生協に返しているという方がかなりいらっしゃいましたが、実はこの袋はリサイクルされておらず、事業系廃棄物として処理されています。常総生協のホームページに「ご利用案内」の11. [再利用しているもの](#)（⇒右のQRコード参照）に掲載されていますが、回収資材は基本的にはここに書かれているもの（商品カタログ・牛乳パック・鈴木牧場牛乳ビン・卵パック・通い箱・蓄冷剤・カタログケース）です。※それ以外にも春先から登場するトマトの箱なども回収します。回収物の多くは容器現物に「回収している」旨表記がありますのでご確認ください。その他詳細は生協や供給担当までお問い合わせください。



常総生協だけでなく他の生協にも加入されている方は（コープみらいとか生活クラブ生協は、プラスチックの袋を回収しているそうです）、そういった生協に、返している方もいました。中にはスーパーに返している方も。

2025年11・12月の予定

○生協基幹運営/地域活動・催し●

○「常総つ子応援団」in流星台プレイパーク：毎週木曜日10～14時活動中です！（出入り自由）開催日は常総生協ホームページ（イベント一覧）をご覧ください。

12/5(金)もち麦「もち絹香」の産地見学会
12/12(金)産地訪問(微生物農法の会長島さん)
12/13(土)定例理事会
12/18(木)脱原発と暮らし見直し委員会

○提携・協同・連帯企画●

12/3(水)東海第二原発差止訴訟 口頭弁論
12/6(土)いしおかオーガニックフェスタ
12/14(日)SILENT FALLOUT上映機@つくば

生協ホームページ



各種募金は、下記【注文番号】で、毎週受付しております。ご協力をお願い致します。

- ★【注文番号:500251】東海第二原発差止訴訟基金 1口500円
- ★【注文番号:500252】関東子ども健康調査支援基金 1口1000円
- ★【注文番号:500253】被災地等を支援する【JOSOたすけあい基金】 1口500円
- ★【注文番号:500254】JOSO脱プラ基金 1口500円
- ★【注文番号:500257】岩瀬牧場・養豚基金 1口500円

Instagram



この件に関しては、プラスチック部員の小林さんと山本さんの感想にも書かれていました。

配送時に使われている大小のポリ袋をご家庭で再利用しているという回答が多いと感じましたが、箱に入れて返却している、他生協の回収に出しているとの回答も一定数ありました。返却された袋や他生協で回収された袋がその後どのように処理されているのかが気になります。（小林部員）

私がアンケート集計入力したのは325枚のうち101枚です。そのうち、99名の方がプラスチックの削減の必要性を感じているようです。大なり小なりに。しかし、生協のポリ袋はゴミ袋などに重宝しているのも事実のようです。プラスチックはなくてはならない存在となっているのを感じます。せめて生協のポリ袋だけでも回収する事が出来ないのかと思います。（山本部員）



私が生協のプラスチック問題に取り組み始めたのもまず袋のことからでした。しかし、ピッキングの現場見学（ニュースレター2024年12月2回号に報告があります（※））をしたり、配達のシステムを知ると、袋が配達の効率化のために必要なことがわかりました。改善の余地もありそうですが、かなり難しいようです。今後他生協の取り組みも調べたりしながら、良い方法がないか考えていきたいと思っています。※「ニュースレター」のバックナンバーは常総生協のホームページから閲覧できます。

JEPA（ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議）ニュース Vol155/Oct.2025 によると、たとえば、グリーンコープ（九州・中国地方、兵庫県。大阪府滋賀県・福島県に住む43万人の組合員がいる）は、組合員からの要望で2010年から仕分け袋を再生して再び仕分け袋として使用しているということです。輸送や保管、再生にかかるコストや環境負荷は？ またリサイクルしているという安心感からついたくさん使ってしまうということはないのか など調べてみたいです。

グリーンコープのほかにプラスチックの袋のリサイクルをしている生協は、コープみらい381万人や生活クラブ生協42万人と、組合員数がとても多い生協です。リサイクルするにもあまり量が少ないと、コストがかかりすぎるだろうとは推測できます。

私がアンケートの回答を打ち込みながら、感じたことは、人によってほんとに様々ということでした。同じことに関しても正反対の見方があります。以下は寄せられたご意見から。（●は袋の削減を希望 ○は袋があって助かる △は両方）

●プラスチック削減のため商品すべて箱に直接入っていてもよいと思いますが、受け取った時に取り出すのに時間がかかり配達の方に迷惑だろうと思っています。（箱はその日に持ち帰っていただきたいのです）

●手付きがない大きなポリ袋は再利用がほぼない。ポツンと1つ入っているときは、もったいないとしばしば思う。（大きな袋に1つだけの理由は、ニュースレター2024年12月2回号にあります）

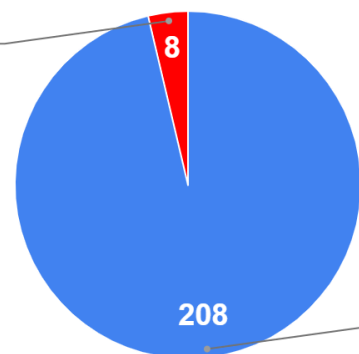
●ゴミ袋として（利用法）。でも使いきれません、特に小さいサイズのもの。

△ポリ袋はボックスに入れて返しています。だめでしたらお知らせください。

●生協からの商品が入っていた大小のポリ袋をなるべく減らしてほしい。

7) 生協からの商品が入っていた大小のポリ袋は、ほかの用途に再利用している

いいえ
3.7%



はい
96.3%

●生協は袋が多いと思う。丁寧でありがたいがもう少し減らせるのでは？

●使い捨てビニール袋を使うことが問題で生協をやめるか毎回考えています。配達のスタッフの方の手間がふえるので一概になくしたほうがよいともいえず、困っています。

●スーパーで買うより袋が多いので残念。ためらってしまう。

○大小のポリ袋は色々と使用できるのでかなり助かっています。

○スーパーの袋がないので（生協の袋は）助かります。

○ゴミ(家庭内)をまとめて入れる。大きなポリ袋はゴミをまとめて入れるのに助かっています。

生協から出たポリ袋はほとんど他の買物袋として利用しています。

△ゴミを捨てる時や衣替えの仕分けなどに使う。どんどん増えるので時々捨てています。

配達時の袋はアンケート提出者の96%の方が再利用されていました。用途はゴミ袋や野菜の保存袋、買い物袋としてが多かったですが、それでも利用しきれないというご意見も。アンケートの項目になかったにもかかわらず、書き込まれていた方が多かったのが印象に残っています。

今回は、配達時の袋に絞って、いくつかのご意見をピックアップしました。次回以降、集計結果と共にまたご意見をご紹介しますと思います。
(プラスチック部会 森博子)

組合員と生産者と職員のひろば

○はなうた家さんのりんご、皮ごと頂きましたが、甘味と酸味のバランスが丁度よく、おいしかったです。

(守谷市Hさん)

⇒ありがとうございます！

はなうた家さんのりんご（サンふじ）は12月4回カタログ50番でシーズン終了です。猛暑を乗り越えたりんご、お見逃しなく！

(農産担当真紀子)



○ゆず醤油 かけぼん 子

どもたちがハマってます。お鍋やサラダ、豆腐ハンバーグ等など…多めにかけて皿などに残ったかけぼんもしっかり飲み干しています。

(我孫子市Tさん)

⇒飲み干すまで…、ありがとうございます！いつでも買える「前日OK」631番、お得な2本組は12月4回カタログ 26番にて掲載しています。年末の食卓にも役立ちますのでぜひご利用ください(^.^♪

(食品調味小室)

○木村さんのごぼう ☆彡 ごぼうのいい香りがして、しかも柔らかでやはり木村さんのお野菜は素晴らしく間違いのない商品です。☆

(取手市Nさん)

⇒ありがとうございます。12月4回カタログ91番にて掲載しております。木村さんのごぼうは太くなくてもおいしい品種です。生育が進み太くなるとスが入る場合もありますがその部分を少し削いで煮物にするととても柔らかです。春先までの企画です。(農産担当真紀子)

○骨までやわらか さんまみぞれ煮 骨までやわらかさんまみぞれ煮の味が濃いです。

(守谷市Kさん)

⇒ご意見ありがとうございます。塩味についてはなかなか難しく賛否ありますが生産者にも伝えます。ごはんに合う、骨までしっかり頂けてカルシウム豊富、湯煎で手軽に頂けるがコンセプトのお魚総菜シリーズです。今回の「骨まで柔らか」シリーズの掲載は12月4回カタログの6ページに4種類が勢ぞろい。「いわしおかか煮」「いわし生姜煮」「いわし梅しそ煮」「さんまみぞれ煮」。年末冷凍庫に備えておくとう便利です。
(水産担当小室)

○「パラマウント足と靴の相談会」に参加しました

【感謝】11/13本部2階で「パラマウント足と靴の相談会」に行ってくれました。担当して下さったのは担当は南さんだと思いますが、本当にありがとうございました。この8~9年、歩くことに大変な月日で、以前はずっと恒例の様に思っていたこの会が、コロナ禍の前後から開催されなくなり、困っていました。パラマウントから羽根田さんが来てくださり、とてもなつかしく話が弾み、私の姿勢や足のことを考えて下さったおすすめの靴を、早速履いて帰りました。今さっきリハビリで、その靴で外を歩いてきました。(リハビリの)スタッフの人に「履きやすそうな靴ですね」と言われ、当日の話で談笑しました。
(つくば市Nさん)

⇒ご来場ありがとうございました。次回のパラマウントのチラシ企画は3月2回です(年4回チラシ配布)。中敷などもご相談ください。
(特別企画品担当南)

集まれば大きな力に！ ハンガー・フリー・ワールドからの報告

認定NPO法人ハンガー・フリー・ワールドから、
Newsletter4月5回に掲載してご協力いただいた
「第24回書損じハガキ回収キャンペーン報告
(5月末まで)」が届きましたので、ご紹介します。



hunger free world

●ご協力ありがとうございました！

いただいた物品は換金し、飢餓の根本解決をめざす活動に活用します。
アフリカなどの農村で人々の結束力を高め、地域で消費する作物を育てる
地産地消の仕組みを整え、最終的には支援に頼らず自らの力で食べ続けられる
社会をめざしていきます。



●キャンペーン期間 2024年12月1日～2025年5月31日

全体の結果は・・・

封筒配布 584万1160枚
換金額 2億943万7648円(※1)(※2)
参加者 個人 8万3196件 企業・団体 219団体

(※1)地域開発などの国内外の事業費に約6割(約1億2566万円)、封筒制作・料金受取人払い・交換手数料などのキャンペーン経費に約4割(約8377万円)を使わせていただきます

(※2)Vポイントはキャンペーン全体として
¥73,062・181件ありました。

そのうち

常総生協からの協力は・・・合計 ¥292,762
件数 117件

<内訳>

未使用・書き損じハガキ	¥101,568
未使用切手	¥78,080
使用済み切手	¥2,738
ブルーチップ、グリーンスタンプ	¥35,700
中古CD・DVD・ゲームソフト	¥2,808
貴金属	¥0
外貨	¥12,870
商品券	¥58,998



報告動画を公開中！！→
(約1分半です)



●単価と合計額は増額、しかし返信率は減少&経費増

貴金属の換金が好調だったことや、額面が値上がりしたハガキや切手が届いたことにより、1件あたりの単価は前回の1942円から2164円に増加しました。その結果、換金額の合計は前回比101.6%となりました。

専用封筒の返信率は前回より0.11ポイント低下し、1.40%でした(4回連続の減少)。参加企業・団体数は5団体増加しましたが、専用封筒の配布枚数が12万枚減少・参加者数は7000件減少。

郵便料金は2018年以降だけで3度値上げされ、さらに交換手数料の改訂が2024年10月に実施されたため、キャンペーン経費はここ数年で倍増しています。

次の呼びかけは年明けを予定(〆切は5月末)していますので、ご協力よろしくお願いします